

柴田是眞 （此は眞） 畫家、漆藝家。文化四年二月七日江戸生れ、明治二十年七月十二日没（二六七一九一）。本名順藏、幼名龜太郎。別號令哉、古滿、對刺居。古滿實哉の門下で、鈴木南嶺の圓山派の畫法を學ぶ。また、頼山陽の經好を、香川景樹の國學・和歌を學んだ。のち青海波塗を再興するなど漆藝界の第一人者となり、明治以降内外の博覽會、展覽會で受賞、審査員を務めた。一三二三年帝室技藝員。

著書 『是眞翁畫經續編』 (柴田龜太郎編、明治四十五年二月十日畫報社) 等。

